

中山 11 発走 15:45

第69回朝日杯セントライト記念(GII) (3歳 オープン・国際(種牡馬))

Table with columns for race number (15-1), horse name, jockey, trainer, and various performance statistics.

実績馬の評価
まずは京都新聞杯勝ち下がり
ピー②着サトノラーゼン
戦して(3430)の安定感
立ち回りもうまく有力だが
春はハードな競馬の連続。目

見えない反動がなければ
キタサンプラックは、ダー
グは展開が厳しかったも
だが、母父がS、ハクシント
本質的に二は長い印象も。

ブライトエンブレムは弥生賞
代上位。内回りで好走して
いる外回りの方が合いそう。
ベルーフは京成杯覇者。こち

らは夏場を叩いたアドバンテ
ージだが、前走してもまだ
本気で走っていない感じ。
キタサンプラックは青葉賞②
タナビーはゴール前で脚
を余していた。未脚堅実、広

コースベターだが侮れない。
毎日杯覇者のミュゼゴース
はの差。成長度でここまで上
積みがあるか。ミュゼゴース
トは相手なりタイプの反面、

Main race results table showing horse names, jockeys, and finishing positions for various races.



2200
良2分10秒
コスモバロク
5五ホク
16年9月19日

成績の見方
①馬名
②騎手
③斤量
④タイム
⑤着順
⑥失点
⑦失馬
⑧失騎
⑨失斤
⑩失時
⑪失秒
⑫失分

本紙の見解
サトノラーゼンはダービー②着。近年でも最強の一頭と
目されるドゥラメンテには先敗したが、サトノクラウン、
リアルスティールの強豪には先着、ハイレブルだったダー
ビー上位馬はほかに出走せず、組み合わせは断然有利。仕
上がりも上々で、首位は譲れない。夏場ひと叩きされたバ
ルーフ、力あるブライトエンブレムが相手。【波乱含み】

相関係数なラーゼン

馬単 6→3, 6→12, 6→10, 6→13, 3→12, 3→10, 3→5, 6→10, 6→12, 6→13, 6→10, 6→5, 6→4

以展開 1着 345, 2着 101213, 3着 345, 101213 (30点)

1 ウイングチップ
2 ジュンツバサ
3 ベルーフ
4 ミゼゴースト
5 ロックファエスタ

相木の単連
秋華賞を制した母と同様に
ライオンエンブレムが期待に
上に成長している。存在感の
増した身体に、活力と鋭さが
あふれている。距離はベスト。
速い脚が長続きする。

過去の実績
攻め馬状態
11 6 13 12 3 12 8
11 6 10 1 2

以展開
1着 345, 2着 101213, 3着 345, 101213 (30点)

**グリーンチャンネル解説者**  
**黒津 紳一** **桧原 正行**

勝杯た分のちれたが、勝馬に足元をすく  
 強い合の動いたが、厳しい流れをすく  
 コースの進歩が課回は内容折  
 競馬で期待が見られた  
 京成折  
 追込み

裂蹄でダービー出走は  
 叶わなかったが、弥生賞  
 ②着し、早月賞④着と春の  
 時点を代わってトツポクラ  
 の地方で示したクラ  
 イトエンブレム。距離  
 K、差しが利く今の中山  
 なら、久々でも好勝負。

**血が騒ぐ 山野浩一**

3歳馬による大レースはアメリカ  
 で9月にトヴァアーズ、イギリ  
 スで8月にセントレジャーが行わ  
 れるのが欧米での最後となるが、  
 日本では秋も深まる10月に菊花賞  
 が行われる。しかもそのためのス  
 テップとして、セントライト記念、  
 神戸新聞杯といったレースが3歳  
 の一流馬によって争われるので  
 かなり古馬との本格的な対戦が選  
 れることになる。ただ、もう一つ  
 の競馬大国のオーストラリアでは  
 北半球での10月にある4月に、  
 菊花賞以上に重要度の高いオース  
 トリアン・ダービーが行われ、  
 孤立したレース体系ともいえない  
 サトラーゼはその距離でも実  
 カどおりに勝てそう。デビュー産  
 駒だけに久々でも仕上がりが早い。

JRA中間発表  
 馬番連勝オッズ  
 (午前10時現在)

1	14	215.2	12	49.8	
2	413.6	15	333.7	13	86.9
3	248.5	16	138.7	14	476.4
4	580.5	17	437.1	15	863.5
5	401.6	18	35.5	16	13.1
6	116.5	19	143.6	17	1046.7
7	483.1	20	254.9	18	1019.4
8	332.1	21	885.7	19	248.5
9	1015.9	22	127.7	20	52.2
10	340.3	23	379.5	21	142.7
11	483.1	24	75.7	22	411.2
12	231.8	25	132.0	23	684.0
13	479.7	26	535.5	24	9.1
14	1191.1	27	697.8	25	1867.1
15	1469.9	28	1867.1	26	666.7
16	140.9	29	14.4	27	464.2
17	426.4	30	80.0	28	106.1
18	123.8	31	106.1	29	14063.8
19	50.1	32	64.8	30	10.1
20	274.1	33	155.2	31	155.2
21	249.4	34	38.9	32	29.1
22	119.0	35	64.3	33	70.7
23	203.7	36	239.0	34	296.5
24	361.7	37	548.3	35	493.4
25	100.1	38	20.7	36	20.7
26	275.2	39	31.1	37	95.1
27	921.1	40	306.2	38	200.2
28	1114.2	41	14.1	39	359.8
29	106.7	42	36.4	40	973.0
30	40.4	43	8.2	41	26.7
31	9.4	44	13.8	42	169.7
32	53.1	45	69.9	43	143.3
33	66.9	46	140.9	44	1.0
34	493.4	47	142.1	45	289.0
35	42.4	48	7.1	46	497.0
36	95.6	49	170.9	47	170.9
37	19.7	50	87.4	48	87.4
38	39.4	51	180.3	49	180.3
39		52		50	
40		53		51	
41		54		52	
42		55		53	
43		56		54	
44		57		55	
45		58		56	
46		59		57	
47		60		58	
48		61		59	
49		62		60	
50		63		61	
51		64		62	
52		65		63	
53		66		64	
54		67		65	
55		68		66	
56		69		67	
57		70		68	
58		71		69	
59		72		70	
60		73		71	
61		74		72	
62		75		73	
63		76		74	
64		77		75	
65		78		76	
66		79		77	
67		80		78	
68		81		79	
69		82		80	
70		83		81	
71		84		82	
72		85		83	
73		86		84	
74		87		85	
75		88		86	
76		89		87	
77		90		88	
78		91		89	
79		92		90	
80		93		91	
81		94		92	
82		95		93	
83		96		94	
84		97		95	
85		98		96	
86		99		97	
87		100		98	
88				99	
89				100	
90					
91					
92					
93					
94					
95					
96					
97					
98					
99					
100					

**中山 11R TMy推し 11 スモークフリー**  
**楽な手ごたえで伸び上々 迫力アップ**

11R	1600	1000	800	600	200	馬脚いろ				
ウイングチップ	美坂	田勝	54.8	39.9	13.0	馬なり併				
2美坂助手	573	415	135馬なり	6美坂助手	590	434	137馬なり			
9南BW不助	手	71.3	56.6	41.9	14.9	馬なり先				
13美坂助手	580	421	137馬なり	16南BW不助	手	70.2	54.5	40.3	13.3	G前強先
16南BW不助	手	70.2	54.5	40.3	13.3	G前強先				
(三木勝パブリックフレンド強めの内を出走1騎遅れ)										
軽くうながすと一気に加速。反応鋭く好気配。【A】										

2	ジュンパ南W箱	67.5	52.4	37.9	12.7	G馬なり先		
2南BW箱助	手	71.6	55.1	40.7	13.7	G馬なり		
6南BW箱助	手	56.3	40.7	13.9	G馬なり			
9南BW不助	手	54.5	40.1	14.0	G馬なり先			
17南BW重石橋箱	53.7	39.1	13.2	G馬なり先				
(古1000ロッキンギョウ杯の内を3騎先着)								
首を使いテンポ良い走り。春より馬体も成長した。【B】								
3	ベルブ	栗川	87.2	70.8	55.0	39.9	11.8	G直強め先
3栗CW重川	田	85.8	69.0	54.3	39.9	12.1	G馬なり遅	
6栗CW箱助	手	567	409	131馬なり				
10栗CW重川	田	85.7	68.9	54.3	39.8	12.2	G直強めに遅	
13栗CW箱助	手	565	411	126強めに				
17栗CW良助	手		55.7	40.7	12.6	G末強め		
19栗CW助	手	624	449	140馬なり				
(古1000タンジブル杯の内を出走併入)								
気性面での安定感は一歩だが、動き自体は力強い。【B】								
4	ミューゼイ	栗川	69.3	52.9	38.5	12.8	G馬なり先	
26美坂助手	562	404	128強めに併	29美坂助手	599	430	133馬なり	
2南BW箱助	手		52.6	38.9	13.0	G馬なり併		
6美坂助手	551	400	123馬なり					
10南BW不助	手		55.8	41.3	13.4	G馬なり先		
13南BW箱助	手		56.3	41.3	13.7	G馬なり		
16南BW箱助	手		55.0	40.4	13.5	G馬なり併		
(古1000タンジブル杯の内を出走併入)								
週2本を4週乗り込む。重苦しさなく、力出せる。【B】								
5	ロッカフェ	栗川	65.9	51.0	37.8	12.7	G一杯追	
27美坂助手	553	409	139馬なり					
3南BW箱助	手		68.1	53.4	39.5	14.0	G馬なり先	
10南BW不助	手		68.8	52.9	39.6	13.7	G直強めに併	
16南BW箱助	手		66.8	52.4	38.4	13.3	G一杯追先	
(古5000ニューマルキング馬なりの内半騎先着)								
追っての先着は相手走りす。鋭さあり好気配。【B】								
6	サトラー	栗川	53.7	40.6	13.1	G馬なり遅		
26栗CW箱助	手		56.1	40.8	12.8	G直強めに		
30栗CW箱助	手		71.9	55.3	40.8	12.4	G馬なり併	
6栗CW重助	手		68.5	52.4	38.9	12.1	G末一杯遅	
10栗CW重岩	田	85.9	68.5	52.4	38.9	12.1	G末一杯遅	
13栗CW箱助	手		70.3	54.8	40.3	12.5	G前強先	
16栗CW良岩	田							
(古5000インパルション杯の内を出走)								
坂路併用で入念。すばやい加速で仕上がりは良好。【A】								
7	ミューゼイ	栗川	52.2	38.5	13.0	G馬なり先		
13南BW箱助	手		73.5	58.3	44.2	14.7	G馬なり	
20南BW箱助	手		68.3	53.2	38.7	13.1	G前強先	
2美坂大江	546	392	128一杯遅					
9美坂助手	578	432	144馬なり	17美坂柴善	550	402	133馬なり併	
(古5000インパルション杯の内を併入)								
雨馬場も鋭い走り。時計以上に好内容。好状態。【B】								
8	レッドライ	栗川	71.1	55.5	40.9	12.8	G馬なり併	
30美坂助手	574	427	142馬なり					
6美坂助手	541	396	135馬なり併	13美坂助手	570	421	136馬なり併	
17南CW重助	手		69.5	54.0	39.8	13.5	G馬なり遅	
(古1000サトノフェリー馬なりの内を出走1騎遅れ)								
追走ぶんの遅れも手ごたえ十分。パネ利いた走り。【B】								
9	タケラム	栗川	65.7	50.0	36.6	12.6	G馬なり先	
30美坂助手	573	420	131馬なり					
3南BW箱助	手		66.6	51.7	37.7	13.2	G一杯遅	
6南BW箱助	手							
11南BW重助	手		53.7	39.4	12.3	G馬なり		
17南BW重助	手		67.8	52.9	38.8	14.6	G直強め遅	
(古1000サトノフェリー馬なりの内を出走1騎遅れ)								
馬場が悪いにしても最後は余力無し。精彩を欠く。【C】								
10	タンタレ	栗川	69.1	53.8	39.1	12.5	G一杯遅先	
2南BW箱助	手		68.2	52.8	38.6	13.1	G馬なり併	
6南BW箱助	手							
11南BW重蛇	名		70.8	55.0	40.3	13.1	G直強めに先	
17南BW重蛇	名		71.2	55.3	40.1	12.9	G一杯遅先	

の一流馬によって争われるので、かなり古馬との本格的な対戦が選れることとなる。ただ、もう一つの競馬大国のオーストラリアでは、北半球での10月にある4月に、菊花賞以上に重要度の高いオーストリアン・ダービーが行われ、孤立したレース体系ともいえないサトラーゼはその距離でも実カどおりに勝てそう。デビュー産駒だけに久々でも仕上がりが早い。

1	174.2	2	22.5	3	66.1	4	27.5	5	10.7	6	31.8	7	3.9	8	38.8	9	40.4	10	86.5	11	47.7	12	112.8
1	67.4	2	120.7	3	174.2	4	27.5	5	10.7	6	31.8	7	3.9	8	38.8	9	40.4	10	86.5	11	47.7	12	112.8
1	118.6	2	120.7	3	174.2	4	27.5	5	10.7	6	31.8	7	3.9	8	38.8	9	40.4	10	86.5	11	47.7	12	112.8
1	233.3	2	120.7	3	174.2	4	27.5	5	10.7	6	31.8	7	3.9	8	38.8	9	40.4	10	86.5	11	47.7	12	112.8
1	196.6	2	120.7	3	174.2	4	27.5	5	10.7	6	31.8	7	3.9	8	38.8	9	40.4	10	86.5	11	47.7	12	112.8
1	103.5	2	120.7	3	174.2	4	27.5	5	10.7	6	31.8	7	3.9	8	38.8	9	40.4	10	86.5	11	47.7	12	112.8
1	109.2	2	120.7	3	174.2	4	27.5	5	10.7	6	31.8	7	3.9	8	38.8	9	40.4	10	86.5	11	47.7	12	112.8
1	188.5	2	120.7	3	174.2	4	27.5	5	10.7	6	31.8	7	3.9	8	38.8	9	40.4	10	86.5	11	47.7	12	112.8
1	28.7	2	120.7	3	174.2	4	27.5	5	10.7	6	31.8	7	3.9	8	38.8	9	40.4	10	86.5	11	47.7	12	112.8
1	28.7	2	120.7	3	174.2	4	27.5	5	10.7	6	31.8	7	3.9	8	38.8	9	40.4	10	86.5	11	47.7	12	112.8
1	28.7	2	120.7	3	174.2	4	27.5	5	10.7	6	31.8	7	3.9	8	38.8	9	40.4	10	86.5	11	47.7	12	112.8
1	28.7	2	120.7	3	174.2	4	27.5	5															

11R 3連複  
上位1/4~25%

3612	15.2
61213	19.4
61012	24.5
5612	26.8
3613	28.7
356	31.0
3610	32.7
6712	34.0
367	39.0
567	48.5
61013	48.6
5613	48.8
5610	49.1
4612	49.3
6812	54.2
6710	55.7
6713	56.4
31213	61.6
368	64.1
4613	69.9
346	74.8
31012	79.2
3512	80.2
61112	80.6
3611	90.9



大川浩史

雨の洋芝とは違う

▼今の中山芝は(3年前の秋に比べれば)時計のかかる馬場だが、野芝オンリーであることは昔と変わらない。路盤が柔らかいために昔より時計がかかるだけであって、例えば洋芝に雨が降った馬場とは違う。

▼8月16日の札幌芝は、良馬場発表だったが雨の影響をモロに受けていて、10RのHTB賞は

編集長の爪

▼セントライト記念は、関東所属馬が「8連勝」もしている珍しい重賞の代表格。

この8年間 関西馬の成績は【04540】である。ただし、この重賞の出走馬からは、01年のマンハッタンカフェ以来、もう「13年」も菊花賞の勝ち馬は誕生していない。

菊花賞を勝つような有力候補は、次週の神戸新聞杯に出走するからである。

▼ところが今年、サトノラーゼン、ベルーフ、キタサンブラック(この馬は菊花賞出走とは限らないが)。有力な関西馬が3頭(残る2頭は権利狙い)もこのレースに遠征してきた。

おそらく馬主(生産牧場)の関係で、使い分けと推測されるが、その3頭、およそ方向の異なる中山の重賞に出走して大丈夫なのだろうか。

▼結論は、全然、大丈夫である。別にセントライト記念から菊花賞馬が生まれないのは方が悪いとか、日程が...ではなく、た

11R 3連単  
上位1/4~25%

6123	49.5
61213	52.3
6312	53.5
61312	65.4
61210	69.8
3612	72.7
1263	75.3
6125	78.3
12613	84.6
6313	97.2
6512	100.9
635	101.1
6127	103.9
61012	106.9
1236	109.6
6310	110.2
12136	111.0
653	114.6
6133	120.1
637	121.0
12610	121.3
6124	122.3
3126	123.7
1265	127.5
6103	138.0



小木曾大祐

発見馬

3日競馬の最終日に買いたい馬がズラズラと...まずは②Rからリュウイールスター。稽古の動きからもっと走れる馬。出遅れた初戦は度外視、今度こそ。

③Rはマイネルビッグパン。言葉どおり、馬込みを縫って伸びてきた初戦は、着順以上の強さ。今回は勝ち負けの競馬。

⑨Rはプリリアントアスク。前走はレース上がりで33秒2のヨイドン競馬、イン突きとはいえ、狭い場所から詰めてきた末脚は特筆もの。単勝が妙味。

⑩Rはラスパジャサード。後続を離れたハナ争いから、直線もうひと伸びした前走が圧巻の強さ。夏を越して本格化、好調牝馬に壁はありません。

当然のように、吉川良さんは「関東馬」に肩入れすると思われる。関東の聖域に乗り込んできた池江厩舎のサトノラーゼンとベルーフを頭にした馬単は買わない気がする。

▼ロッカフエスタへ父マンハッタンカフェは8月に17歳で死亡)の菊花賞挑戦を可能にする

③着以内があると、いかにもこの秋にふさわしい気もするが、印が回らない。ルメール騎手でも押さえてみたらどうだろう。

▼ブライトエンブレム(父ネオユニヴァース)に期待する。母ブラックエンブレムは08年の秋華賞の勝ち馬。春のオークスは④着にとどまっていたが、ローズSをひと叩きすると大きく変わり、④番人気の秋華賞を勝ってみせた。

その母と同じように、秋になって素晴らしい身体つきに変わっている。おそらく今季の少し時計を要する中山はベスト。春の弥生賞、皐月賞より確実に中身の濃いレースを展開できるはずである。関東馬の連勝記録をのばしたい。

競馬人情 吉川良

「昔さ、京都へ遊びに行くと、京都牝馬特別の、河内が乗ったオトメゴコロの単勝を買って、ゲートがあってスタンドで、ふたりでさ、オトメゴコロって声をそらえて叫んだことがあったよね。」

今、競馬新聞のセントライト記念の記事を読んでいて、キタサンブラックの祖母はオトメゴコロと目が止まって、電話したくなっちゃった」

と杉並にいる古い友だちの沢田さんが電話してきた。

「オトメゴコロの妹がオトメノイノリ。オトメノイノリはオトメにも出た」

と私は言いながら、そんな昔のことを思い出して電話してくる友だちをうれしいなあとと思い、友だちがいるから暗くならないで済むのだと感謝した。

キタサンブラックはヤナガワ牧場の生産である。梁川正善さんが経営者だが、その父で先代の正克さんとは、会えば酒を飲んで何でも話せる仲である。

正克さんはどう思っているかわからないが、私は勝手に吉川良き友だちだと思ってるのだ。

サトノラーゼンが強いよ、ブライトエンブレムが強いよ、ベルーフが強いよとかいうことおれにとって、古い友だちの牧場のキタサンブラックを買うのが筋だよなあと、セントライト記念で馬単の、⑬③、⑬⑥、⑬⑫を買い、「ヤナガワ」と叫んでみよう。

◆ダービー最先着馬の成績◆

17年アドマイヤフジ	④
18年フサイチジャンク	④
19年ゴールデングリア	⑥
20年マイネルチャールズ	④
21年ナカヤマフェスタ	④
22年ゲシュタルト	④
23年ベルシャザール	④
24年フェノメノ	④
25年ヒラボクディーブ	④
26年イストラボニーター	④

\*着順は上がダービー、下がセントライト記念

◆ラジオNIKKEI連対馬成績◆

17年コンラッド	①
19年ロックドウカン	①
クスクリーンヒーロー	①
20年ノットアローン	②
22年アロマカフェ	②
ククオクスター	①
25年ケイアイチヨウサン	②
26年クラリテイション	②

\*着順は上がラジオNIKKEI賞、下がセントライト記念